

第8回

高浜市の未来を描く市民会議【報告】

総合計画基本計画(素案) & 自治基本条例(素案)の発表

日時 平成22年6月30日(水)

午後7時～8時30分

場所 中央公民館 中会議室(3階)

1. 総合計画基本計画(素案)の発表 (7時00分～8時20分)

◆行財政運営分科会(神谷正巳サブリーダー)

- ・ “経営” “財政運営” “まちづくり” の3つの視点から目標を立てた。
- ・ 「こんなことに取り組みます」の部分が一番大事。
- ・ 指標に挙げた「将来負担比率」といった用語関係については、また改めて詳しく説明したい。
- ・ 素案をまとめあげるに至っては、基本目標のフレーズの通り、みんなで汗をかきながら考えてきた。主婦、市民目線でやってきた。

◆教育分科会(竹内一仁リーダー)

- ・ “乳幼児から成人まで、みんなでともに学び合おう”ということを目標にした。
- ・ “学力(家庭、学校での教育力)”や“安全”に対する不安が増えている。学校、家庭、地域で、力を合わせて環境づくりをしたい。
- ・ 「目標達成に向けての考え方」について、“教育力(指導力、授業力、家庭力、地域力)” “連携” “施設設備”という面から、環境づくりをしたい。
- ・ 指標は、まだ具体的になっていない。

◆生涯学習分科会(尾方勝利リーダー)

- ・ 「夢と未来を育む生涯学習」を目指して、シートをまとめた。

◆子育て・子育て分科会(鈴木康博リーダー)

- ・ 子ども目線に注意して作成した。

◆産業分科会(神谷環光リーダー)

- ・ 後継者の育成・支援が大切。
- ・ 融資については、いかに本当に困っている人に使ってもらうか。誰でもいいから使ってもらえば良いというものではない。情報不足だという指摘も多い。
- ・ 循環型産業を目指す。
- ・ 税収を増やすことが課題。例えば、3,000 m²の土地に工場を誘致すると、620万円の税収になるが、宅地だと180万円(13棟)、共同住宅は210万円(28戸)、マンションは370万円(28戸)ほどになってしまう。しかし、目標7の指標4については、本当にこれでいいのかと思っている。10年後の人口は48,000人を想定。そうすると約4000世帯増えることになる。13km²の中に、それだけの家を建てるだけでも、土地が足りるか分からない。幼稚園、保育園、高齢者施設も必要になってくる中、果たして本当に工場誘致が出来るのか…。

- ・ 大型商店ばかりになると、買い物難民が出る。そのため、地元商店を支援する。
- ・ 観光資源として、まち協との連携、海の利用、419 沿いに道の駅をつくるなどが考えられる。
- ・ メンタルヘルス関係の研修については、アンケートから要望が多かった。
- ・ チャレンジドの就労については、地域福祉分科会と連携して考えたい。

◆環境分科会（芝田啓二リーダー）

- ・ 法令順守、市民参加を中心に考えた。

◆都市基盤分科会（神谷和之リーダー）

- ・ 土地利用、市街地整備、道路、公園、防災、防犯、交通安全等々、多岐にわたる分野を6枚のシートにまとめた。

◆地域福祉分科会（古橋知美リーダー）

- ・ “身近な福祉”として、明日からできること、誰もが出来ることを考えてきた。
- ・ 特定のものではないというのが福祉。それぞれ考え、育てるものがあるが欲しい。

◆健康分科会（神谷通夫リーダー）

- ・ 健康と医療をテーマに考えてきた。

2. 自治基本条例(素案)の発表（8時20分～8時30分）

◆自治基本条例分科会（板倉良平リーダー）

- ・ 高浜市の自治基本条例は、まち協を位置づけることが一番の特徴。前文では、高浜市のまちづくりでは、地域内分権を進めてきたし、これからも進めていくんだという決意を盛り込んだ。また、地域自治の章には「地域内分権」の言葉も盛り込んだ。
- ・ 少しでも親しみを持ってもらえるように「です・ます調」とした。今後は、市民にいかにか知ってもらおうか、参加してもらおうかが課題。

3. 中川幾郎先生からの講評

<全体を通して>

- ・ メリハリがきいていて、分かりやすく、とても感心した。
- ・ 全体的に、まち協とのパートナーシップを結ぶという視点が欠けている。これが横串になると良い。

<行財政運営>

- ・ 市民も“経営者”という立場に立つという考えが出てきたことが良い。今後も、鍛えられた市民を育成していくことが大切。
- ・ “あれか・これか”に踏み込んだことに関心。
- ・ 市民予算枠事業、交付金など、まち協の存在が出てきた。
- ・ 指標の「地域活動に参加している人の割合」に、職員の参加率を入れても良い。

<教育>

- ・ 家庭、地域、学校の「三角（参画）」で循環関係をつくる。
- ・ 「教育基本構想を策定します」だけにとどまらず、施設の整備、幼・保・小・中一貫教育などを、もっと具体的に踏み込んで記述してはどうか。

<生涯学習>

- ・ 「生涯学習基本構想」と「教育基本構想」は別個ではなく、連動して書いた方が良い。
- ・ これまでの生涯学習は、とかく趣味や楽しみが主の個人主義になりがちだった。小学校区単位で「地域計画」を策定するようになったのだから、これからの生涯学習は、集団的自己決定能力を身につけるための生涯学習に転換していくことが大切。また、学習機会の少ない人を引き込めるような学習の場にしてほしい。

<子育て・子育て>

- ・ 目標6の「目標達成に向けての考え方」に、「家庭、地域、行政、企業等が連携して」とあるが、企業の取り組みについて具体的に記述がない。地域の中に入っているのか？企業を別で項目を設けてはどうか。
- ・ 目標4（教育）と重なっている部分がある。

<産業>

- ・ 目標7～9は、よく整理されている。
- ・ 小売店の活性については、コミュニティとつながっているかどうか重要。コミュニティとつながっていないところへの支援はあまり意味が無い。コミュニティビジネスは、この視点から発展するはず。
- ・ 総合評価入札制度の導入は地元業者の育成にもなる。また、男女共同参画（ex.女性の雇用率）、障がい者（ex. チャレンジド雇用率）、外国人など、人権についての視点がないと、将来都市像に掲げた“大家族たかほま”にはならない。

<都市基盤>

- ・ 目標14と15の両方に土地利用と市街地整備（土地区画整理）についての記述があり混在している。もう少し整理してはどうか。また、土地利用は、都市計画マスタープランと連動しているはず。
- ・ 目標15について、空間に、上もの、建物が混在している。ここでは、景観、屋外広告など環境でまちの品質を上げることを考えた方が良い。
- ・ 目標16は、ユニバーサルデザインとして、再度見直しが必要ではないか。
- ・ 目標17は、公園、緑地としてはっきり区切ったほうが見やすい。
- ・ 目標18の「安全」は防犯、目標19の「安全」は防災。2つを明確に区切ったほうが見やすい。
- ・ 救命講習は良い考え。最近、AEDの利用を知る市民の比率などを指標にしている例もある。

<地域福祉・健康>

- ・ 安全・安心と同様に、“まち協との連携をベースとして”としないと、各地域がそれぞれ縦割りに活動する印象になる。

<自治基本条例>

- ・ よくここまでまとめた。とてもすっきりしている。

- 行政として検討していただきたい宿題として「行政評価」「公益通報制度」「外部監査制度」「参画機会」が残っている。例えば、参画については「機会を設ける」ではなく、「パブコメ」「市民の一般公募での審議会・協議会への参加」「行政評価」「オンブズマン」などを記載しているところもある。また、法定監査にはコストも手間もかかるため、よく協議をしていただきたい。
- まち協は今後条例に担保された公共的団体となる。そのため、第16条から第19条については、総合計画との整合性を取らなければならないし、地域計画も必須になる。
- 議会、議員については、現状空白。先の議会で議員全員一致により、総合計画の基本計画までを議決対象にしたということは心強い。つまり、議会も行政と共同で執行までを含めて連帯責任を負うということであり、これからは行政が勝手に事業をやることが出来ないということになる。
- 地域内分権について明記があるのは、他市では豊田市のみだと思う。地域内分権のニュアンスをもっと入れたらどうか。

◆吉岡市長のコメント

- 自由な議論から形になり、面白いものが出来てきた。ページをめくるごとに期待感がある。
- 整合性が取れているか、抜け落ちが無いかは、しっかり確認をしてほしい。横串の必要性、財政計画などは特に。
- ここに書いてあることは、実際に行うこと。本当に未来を描いていく。生活の中で感じる疑問をコメントして欲しい。パブコメ、傍聴などで言ってもらっても良い。
- 傍観者にならず、大家族の父親、子ども、隣人として参加してもらうことで、大きな力になる。さまざまな情報、参加が大事であると感じた。自分たちでつくってきたことで、責任を感じる部分もあるだろう。
- もっと情報と参加が必要だと思う。審議会の傍聴などして、次に活かしてほしい。

4. お知らせ

◆ 事務局より、今後のスケジュールを説明。

- 素案を受けて、行政の各担当グループに投げかけをし、モレ、ダブリを確認、財政計画とのすりあわせを行う。
- 9月初旬をめどに、中間公表（案）を取りまとめる予定。
- その後、計画案を市民の皆さんに広く公表し、意見をいただく機会を設ける。
- 自治基本条例については、8月中旬をめどに、中間公表（案）を取りまとめ、8月中旬から9月中旬にかけて、条例案を市民の皆さんに広く公表し、意見をいただく機会を設ける。
- 総合計画審議会への傍聴、市公式HPに掲載されている資料についてPR。

◆こども未来部より「公共施設のあり方検討」について説明

<第9回> 日 時:7月29日(木) 午後7時～ 場 所:高浜市役所 第2会議室
 テーマ:自治基本条例をもっと知ろう



▲素案発表会 開会



▲行財政運営分科会(神谷正巳サブリーダー)



▲教育分科会(竹内一仁リーダー)



▲生涯学習分科会(尾方勝利リーダー)



▲子育て・子育て分科会(鈴木康博リーダー)



▲産業分科会(神谷環光リーダー)



▲環境分科会(芝田啓二リーダー)



▲都市基盤分科会(神谷和之リーダー)



▲地域福祉分科会(古橋知美リーダー)



▲健康分科会(神谷通夫リーダー)



▲自治基本条例分科会(板倉良平リーダー)



▲発表に拍手！！



▲中川先生よりコメント



▲吉岡市長よりコメント